



副会頭
金尾 雅行
(富山港湾運送(株) 取締役社長)

会場 串揚げ「勝」
中央通1-1-20

「グローバルな視点で活動してほしい」

全員による自己紹介のあと、金尾副会頭は、優しい口調で商工会議所の活動について問いかけた。発言を遠慮している参加者にも気を遣い、時折、「飲まんですか」と紳士的にお酒をすすめるなどし、参加者も次第に積極的に発言し、盛り上がっていった。

参加者からは、「正直、商工会議所の活動があまりわからない」「青年部として富山市に政策提言を行っているが、商工会議所全体の施策として要望する方法はないか」などの意見があった。

これに対し、副会頭は「商工会議所にとっては、国や県、市などへの要望・陳情

も大切な活動の一つだと思う。青年部からもどんな意見を出して欲しいし、その意見を反映する正式な機会を設けることを検討していくべきだと思う」と答えた。

また、「富山にも沢山の経済団体等いろいろな組織があるが、どんな組織も、現在も含め、次代を担うべく活躍しているのは実際のところ60歳以下だと思う。40代半ば位以上が中心になって活動しなくて、地域も国も、次の時代は成り立たないと思う」さらに、「グローバルな時代にある、日本(富山)と外国、特に対岸諸国との関係はこれからもっと必要になってくる。こうした中で、若手経営者の皆さんには、対外諸国との交流の機会も積極的に設けてほしい」とアドバイスした。

肩を寄せ合う和やかな談義の時間は瞬く間に過ぎて行った。終了時間になっても話題は尽きず、談義終了後、副会頭は参加者と所を変えて、延長戦へと楽しく向かい、さらに熱い談義を交わされ、再会を約し、会を終えられたとのこと。

【参加者】

- ハッ橋朋和 (テレ通株 専務取締役)
- 川邊 秀輔 (A f i e x 代表)
- 田村 忍 (タムラ建築 代表)
- 青木 啓明 (南青木工業所 代表取締役社長)
- 頭川 衣里 (株ル・クラブ)



副会頭
翠田 章男
(株)トンボ飲料 代表取締役社長)

会場 「FUNKY's」
総曲輪2-18-16 8番館ビル

「自分自身のしっかりとしたビジョンを持つてほしい」

翠田副会頭は、リラックスした雰囲気でも若手経営者たちを迎えた。参加者はすべて青年部会員で、自身も過去に青年部会長を務めた経験から、各個人の経営についての話のほか、青年部活動についても話が膨らんだ。

参加者から、従業員のモチベーションを上げるにはという質問があり、副会頭は「社長自身が将来の夢、希望を具体的に思い描けるか、示して行けるかにかかっている。絵に描いたビジョンでは社員にすぐに見透かされる。社長のしっかりとした本気を見せ、こんな会社と一緒に

にしようと訴える。ビジョンに向かって全員で行動することで、社員は自分の会社に誇りを持つ。外部ではなく、まず社員に自社のブランディングをしなければならぬ」と答え、また、「いくら考えを伝えても、お互い理解できない部分は必ずある。しかし、理解できない部分も認め、できるだけ共有部分を広げていくことが重要」と付け加えた。

さらに、自社の理念、行動指針を紹介し、賞与時には、社員の家族あての手紙を書き、会社の状況や将来についてのメッセージを送っていることも紹介した。居酒屋ならではの「人生道場」的な空気感の中、経営観、人生観を語る副会頭とその真意を受け止める参加者には、意気投合した親近感がたぐい、談義の席は終始笑顔に包まれた。

【参加者】

- 中嶋 誠 (南中嶋工芸社 代表取締役社長)
- 五十嵐 亮 (南富山メディアワーク)
- 高橋 由将 (南高橋自動車 代表取締役社長)
- 駒見 良平 (株コマヤ 専務取締役)
- 加藤 源司 (BROSS WORKS GROUP)

